

# 命をつなぐ橋

## 港橋がリニューアル

市道片浜静波線の勝間田川に架かる港橋の補修・耐震補強工事が6月に完成しました。その工事の状況をお知らせします。

問い合わせ 建設管理課 田村 ☎(53)2627

### 老朽化による橋の劣化

勝間田川に架かる港橋は、路線バスや通勤通学者が通行する橋として、皆さんの生活において重要な役割を担っています。

建設してから約85年が経過していた港橋は、劣化が生じ、耐震性も不十分でした。

そのため、平成26年度と27年度（工期は平成28年6月末まで）の2力年にわたり、約2億3千万円の事業費をかけて、補修・耐震補強工事を実施しました。

### 安全安心を確保した命をつなぐ橋に

実施された工事では、コン

クリートが欠けた箇所や鉄筋が露出してさびた箇所などを補修し、大規模な地震にも耐えられるよう耐震補強（\*）を施しました。

耐震補強された橋は、今後発生が想定される大規模地震の際にも、命をつなぐ避難路としての役割を果たし、住民の皆さんの安全安心を確保します。

また、工事にあわせて、グリーンベルト（緑色の歩行帯）を設置し、児童や生徒の登下校時の安全も考慮しました。

（\*）耐震補強は、地震による損傷が限定的なものに留まり、橋としての機能の回復を速やかに実行できる性能を基準としています。

### 工事後の港橋



工事前の港橋



橋面の防水・再舗装とグリーンベルトの設置

銀柱の補修  
橋名板の文字は池田鈴菜さん（静波区）書

橋干の改修

けたと橋脚の補強・補修

### 水銀の適正処理を

血圧計や体温計、乾電池、蛍光灯、液晶バックライト、ボタン電池、ガス検知管、顔料などに使用されている水銀は、人体に取り込まれると、さまざまな中毒症状を引き起こします。

そのため、これらを処分するには、「水銀に関する水俣条約」に基づき、銀添加製品や水銀含有廃棄物として適正に処理しなければなりません。水銀は容易に気化し、呼吸や皮膚、食物などを通じて吸収される可能性があるため、大気や環境中に排出しないようにしなければなりません。

### 水銀血圧計や水銀体温計など無料で引き取り

市では、皆さんの家に眠っている水銀血圧計や水銀体温計など、無料で引き取ります。市内から集められた水銀添加製品や水銀含有廃棄物は、処理工場に運ばれた後、水銀や非鉄、製鉄資源、ガラス、ウール・蛍光灯用ガラス、レアアース、セメント、土壌改良剤などの原料に分けられリサイクルされます。

# 眠っている 水銀体温計や水銀血圧計の 適正な処理を

皆さんは、水銀血圧計や水銀体温計などの処分に困っていませんか。水銀が使われている血圧計や温度計、体温計などは、適正な方法で処理しなければなりません。

市では、これまで以上に皆さんが分かりやすく適正に処分できるよう、水銀血圧計や水銀体温計、水銀温度計などを、環境課（相良庁舎1階）や市民課（榛原庁舎2階）、健康推進課（さざんか）で、無料の引き取りを始めました。

問い合わせ 環境課 大石 ☎52609

\*水銀体温計や水銀血圧計とは、数値を示す帯が銀色のものです。

